

# 子育て世代アンケート 結果

## ■アンケート実施状況

調査期間：令和3年5月12日～令和3年5月25日（14日間） ※締切遅延分も集計

対象者：市内の小学校、幼稚園、保育園を利用している保護者

実施方法：小学校、幼稚園、保育園、子育て支援センターを通じて配布し、インターネット及び紙面で回答

配布数：2,757 通

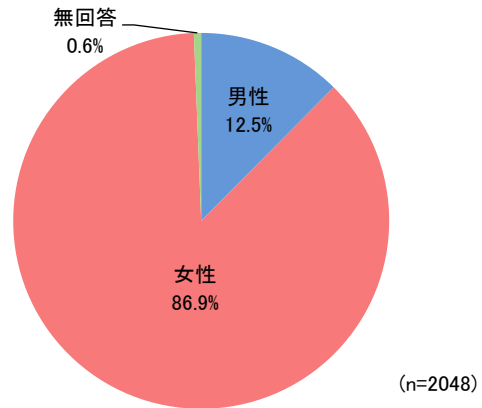
回答数：2,048 通

回収率：74.3 %

## 1. あなたのことについて、おたずねします

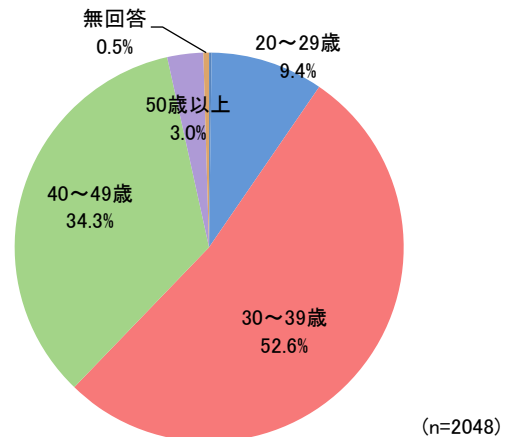
### 問1 あなたの性別

	(件)
1. 男性	255
2. 女性	1,780
無回答	13
計	2,048



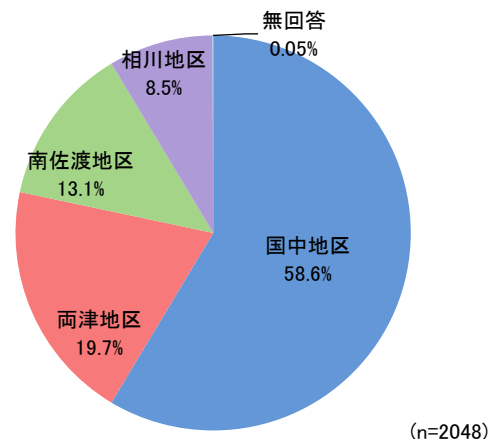
### 問2 あなたの年齢

	(件)
1. 19歳以下	4
2. 20～29歳	192
3. 30～39歳	1,078
4. 40～49歳	703
5. 50歳以上	61
無回答	10
計	2,048



### 問3 あなたのお住まいの地区

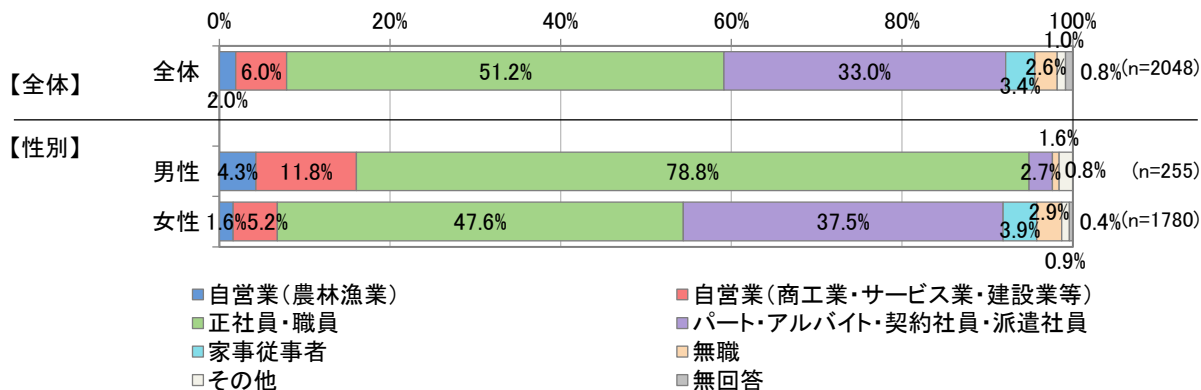
	(件)
1. 国中地区(佐和田・金井・新穂・畑野・真野地区)	1,200
2. 両津地区	404
3. 南佐渡地区(小木・赤泊・羽茂地区)	268
4. 相川地区	175
無回答	1
計	2,048



## 問4 あなたと配偶者の雇用形態

### ■あなたの雇用形態

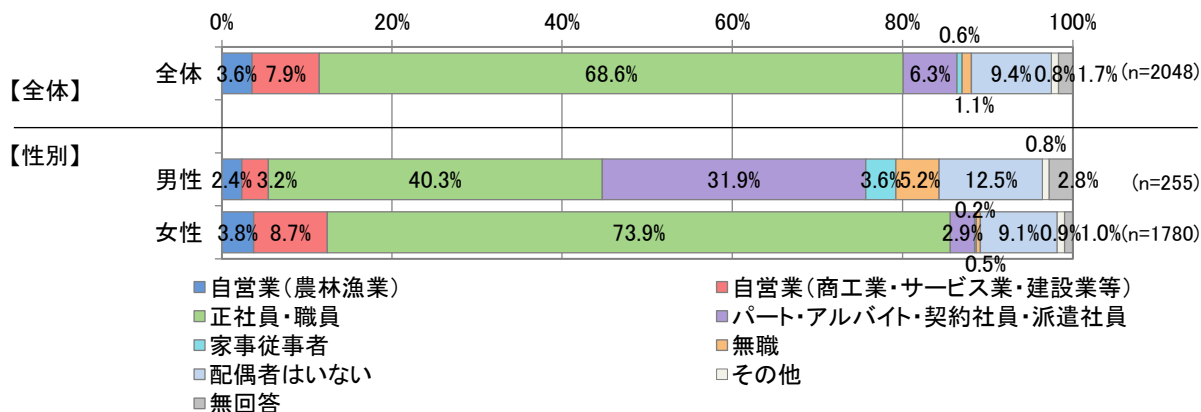
	(件)
1. 自営業(農林漁業)	40
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	122
3. 正社員・職員	1,049
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	676
5. 家事従事者	70
6. 無職	54
7. その他	20
無回答	17
計	2,048



### ■配偶者の雇用形態

	(件)
1. 自営業(農林漁業)	73
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	162
3. 正社員・職員	1,405
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	130
5. 家事従事者	12
6. 無職	22
7. 配偶者はいない	193
8. その他	17
無回答	34
計	2,048

その他  
 ・学生  
 ・僧侶  
 ・経営者

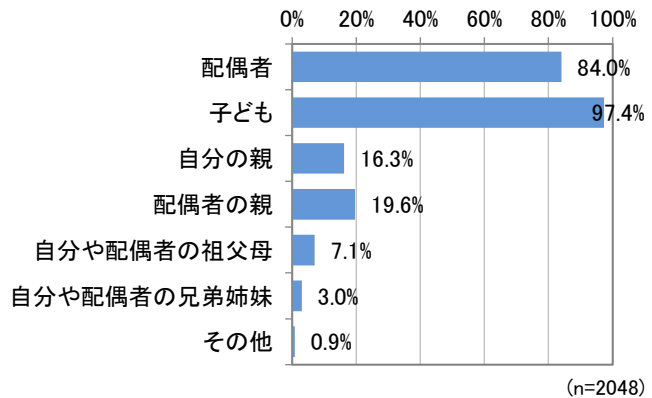


問5 同居しているご家族 (該当するもの全て○)

	(件)
1. 配偶者	1,721
2. 子ども	1,994
3. 自分の親	333
4. 配偶者の親	402
5. 自分や配偶者の祖父母	145
6. 自分や配偶者の兄弟姉妹	62
7. その他	18

その他

- ・ 叔父・叔母(7)
- ・ 祖々父母(2)
- ・ 孫(2)
- ・ 甥、姪
- ・ 婚約者

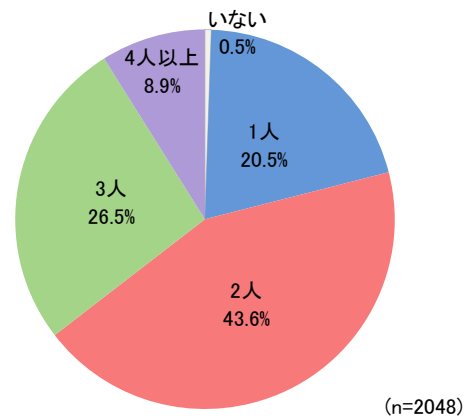


2. 子どもや子育てのことについておたずねします。

問6 お子さんの年齢・人数を教えてください。

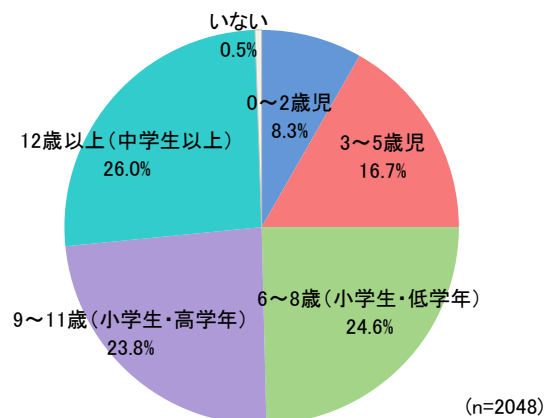
■子どもの人数

	(件)
1. いない	11
2. 1人	419
3. 2人	892
4. 3人	543
5. 4人以上	183
計	2,048



■第一子の年齢

	(件)
1. 0～2歳児	169
2. 3～5歳児	343
3. 6～8歳(小学生・低学年)	504
4. 9～11歳(小学生・高学年)	488
5. 12歳以上(中学生以上)	533
6. いない	11
計	2,048

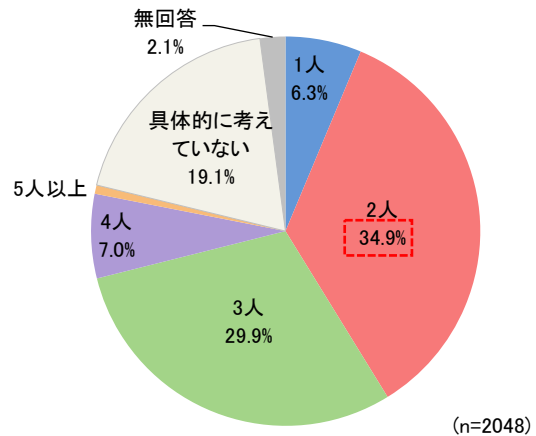


問7 将来も含めて実際望むお子さんの人数と、実際とは関係なく理想とするお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。

子育て世代の方が実際に望む子どもの人数は、「2人（約35%）」が最も多い。一方で、理想とする子どもの人数は、「3人（約46%）」が最も多い。  
理想よりも実際に望む子どもの人数が少ない人は、平均約1.1人理想よりも少ない。

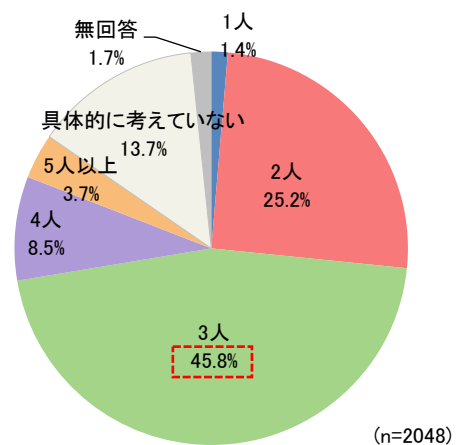
■実際に望む子どもの人数

	(件)
1. 1人	129
2. 2人	715
3. 3人	612
4. 4人	143
5. 5人以上	15
6. 具体的に考えていない	391
無回答	43
計	2,048



■理想の子ども的人数

	(件)
1. 1人	28
2. 2人	517
3. 3人	937
4. 4人	175
5. 5人以上	76
6. 具体的に考えていない	281
無回答	34
計	2,048

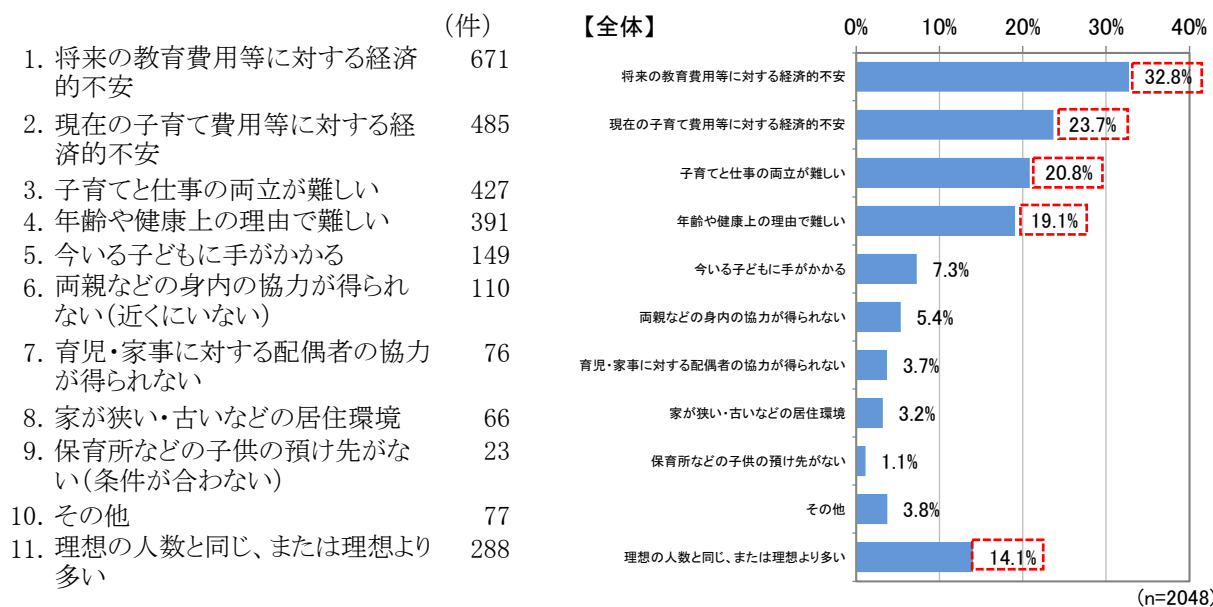


問8 実際に望んでいるお子さんの人数が理想より少ない場合、その理由は何ですか。  
(3つまで)

実際に望んでいる子どもの人数が理想よりも少ない理由としては、「将来の教育費用等に対する経済的不安(約33%)」が最も多く、次いで「現在の子育て費用等に対する経済的不安(約24%)」、「子育てと仕事の両立が難しい(約21%)」、「年齢や健康上の理由で難しい(約19%)」となっている。

また、「理想の人数と同じ、または理想より多い」と回答した方は約14%である。

第一子の年齢別にみると、第一子が3~8歳である方は「子育てと仕事の両立が難しい」、第一子が9~11歳である方は「年齢や健康上の理由で難しい」の割合が比較的高い。



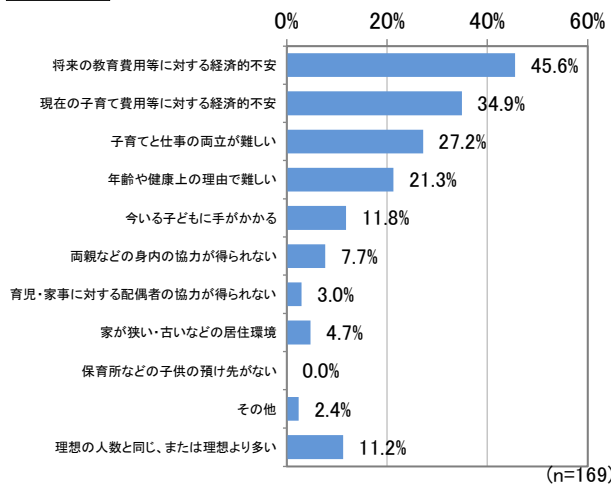
その他

- ・ 配偶者がいない(8)
- ・ 子どもができない・できなかった(7)
- ・ 配偶者との意見の相違(6)
- ・ 気持ちに余裕がない(5)
- ・ 不妊治療の体制が不十分(3)
- ・ 親同士の関係が面倒(3)

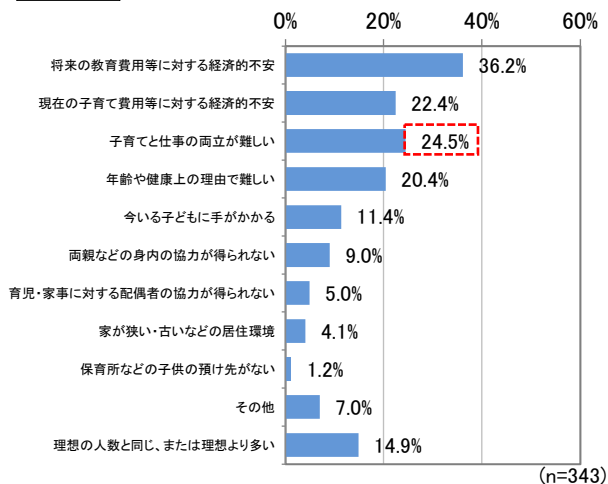
など

【第一子の年齢別】

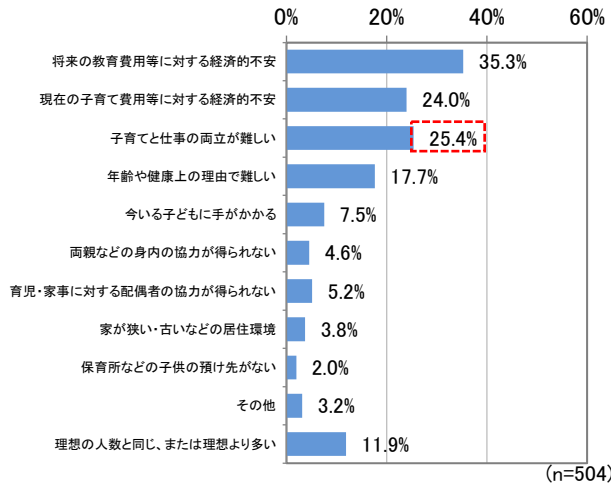
0~2歳児



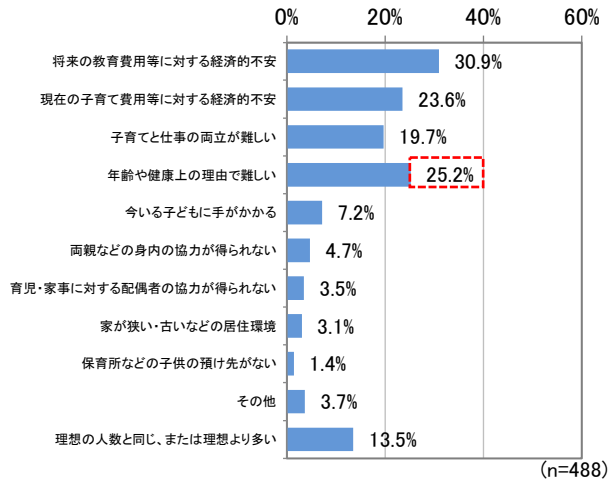
3~5歳児



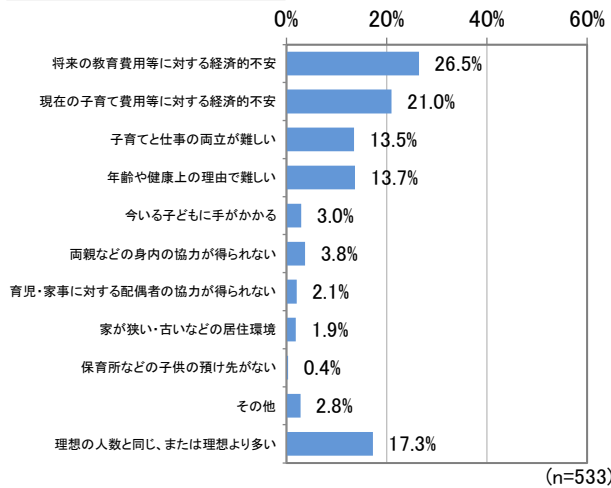
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



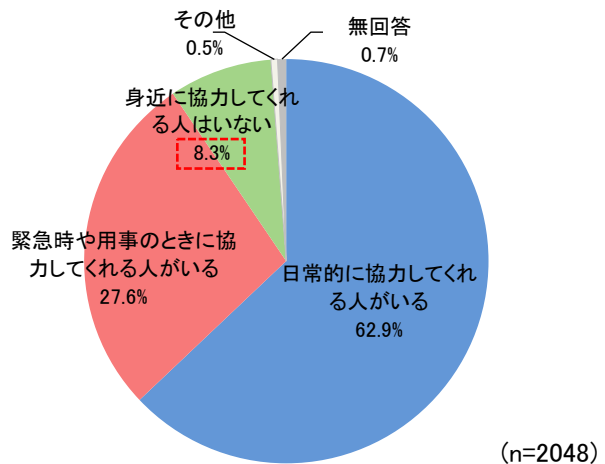
12歳以上(中学生以上)



問9 日常的に子育てを協力してくれるご家族や知人が身近にいますか。

子育てを協力してくれる家族や知人について、約8%の方が「身近に協力してくれる人はいない」と回答している。

	(件)
1. 日常的に協力してくれる人がいる	1289
2. 緊急時や用事のときに協力してくれる人がいる	565
3. 身近に協力してくれる人はいない	169
4. その他	11
無回答	14
計	2,048



その他

- ・ 自分と配偶者のみ(2)
- ・ 今はいるが以前はいなかった
- ・ その時の都合で協力してくれる
- ・ 協力してくれる時に波がある
- ・ 週に一日、2週に一日ほど
- ・ 施設に預ける時もある

など

問10 家事と育児の現在の役割分担と理想とする役割分担を教えてください。

現在の家事と育児の役割分担については、「自分が大半を担う（約29%）」と「自分が主で、配偶者が一部担う（約34%）」で半数以上を占めている。

一方で、理想とする役割分担については、約66%の方が「自分と配偶者が同程度担う」と回答している。

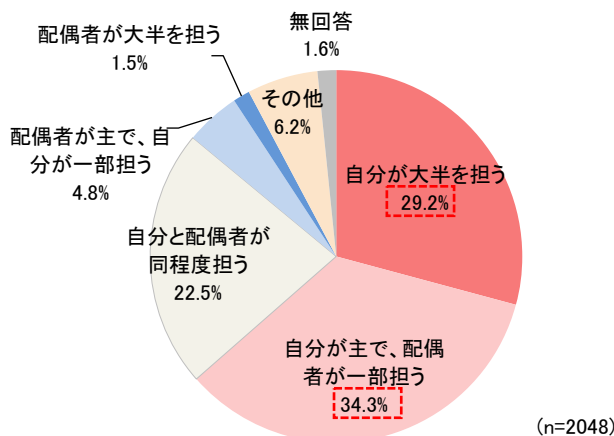
理想とする役割分担を男女別でみると、「自分が大半を担う」と「自分が主で配偶者が一部担う」の合計は、男性が約7%であるのに対し、女性は約29%である。また、「配偶者が大半を担う」と「配偶者が主で自分が一部担う」は、女性が約1%であるのに対し、男性は約18%である。

■現在の家事と育児の役割分担

	(件)
1. 自分が大半を担う	598
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	703
3. 自分と配偶者が同程度担う	460
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	98
5. 配偶者が大半を担う	30
6. その他	126
無回答	33
計	2,048

その他

- ・ 自分と同居家族で協力(22)
  - ・ 親が主(12)
  - ・ 自分が主で、同居家族が一部(6)
  - ・ 自分が育児、(義)母が家事(4)
  - ・ 親が主で、自分が一部担う(2)
- など

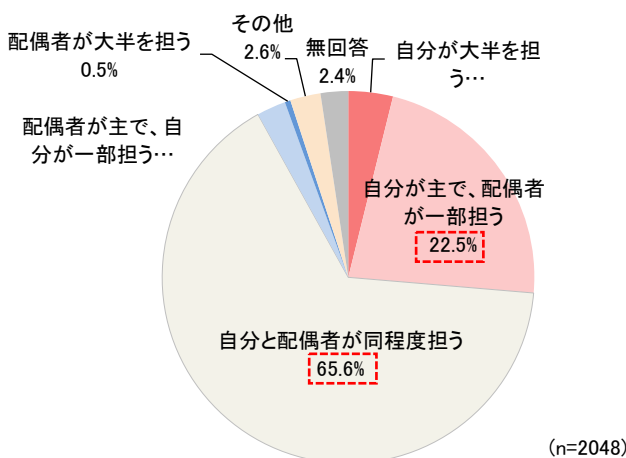


■理想とする家事と育児の役割分担

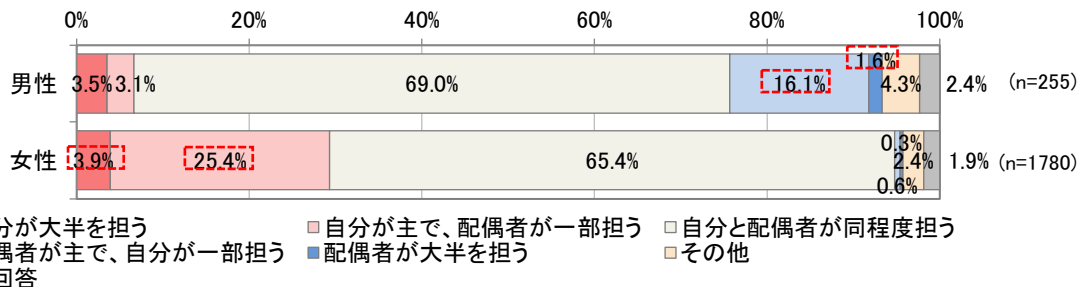
	(件)
1. 自分が大半を担う	79
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	461
3. 自分と配偶者が同程度担う	1,343
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	52
5. 配偶者が大半を担う	10
6. その他	54
無回答	49
計	2,048

その他

- ・ 家族全員で臨機応変に対応(6)
  - ・ できる時にできる方が行う(3)
  - ・ 仕事の量に合わせて分担(2)
- など



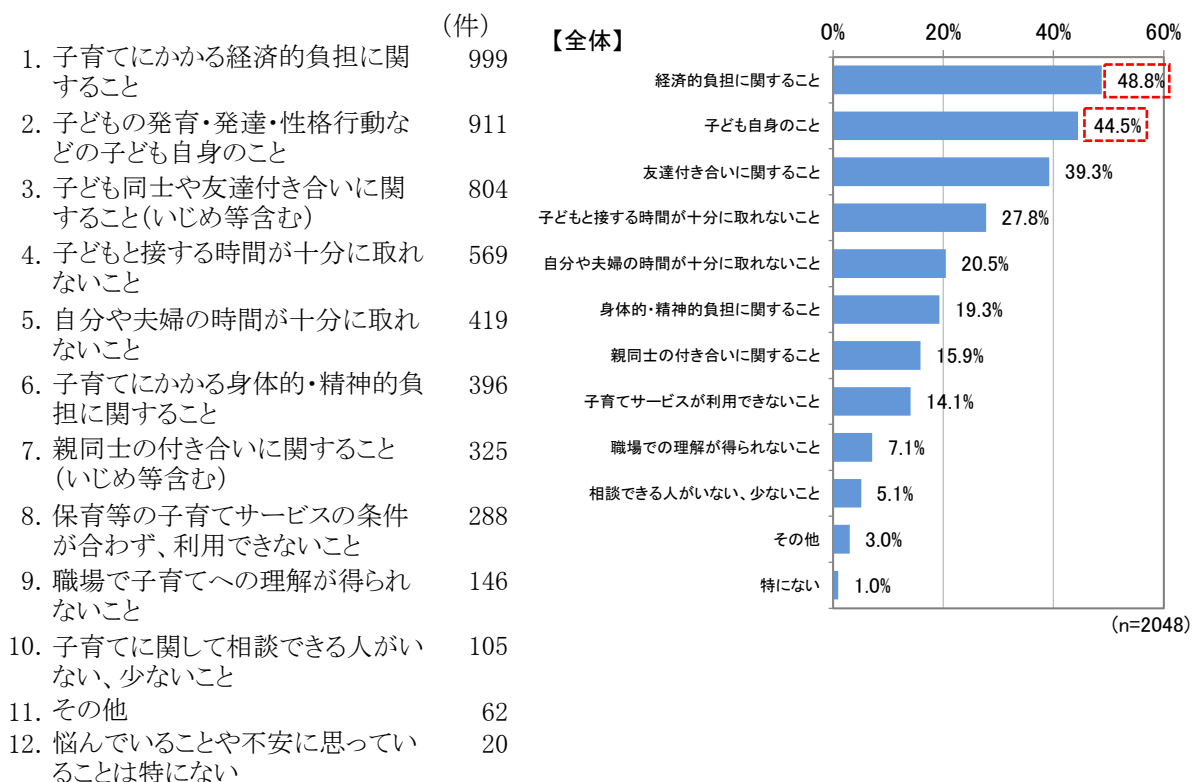
【性別】



問11 日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。  
(該当するもの全て○)

日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることとして、「子育てにかかる経済的負担に関すること(約49%)」が最も多く、次いで「子どもの発育・発達・性格行動など子ども自身のこと(約45%)」である。

第一子の年齢別でみると、第一子が0~2歳である方は「自分や夫婦の時間が十分に取れないこと」、3~8歳である方は「子どもの発育・発達・性格行動など子ども自身のこと」、9歳以上である方は「友達付き合いに関すること」について悩んでいる方が比較的多い。



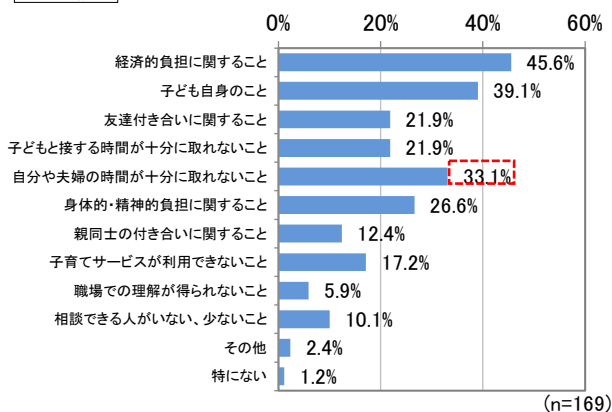
その他

- ・ 配偶者や同居家族との関係や意見の相違(8)
- ・ 休日や雨天時に過ごす場所がない(6)
- ・ 仕事との両立が難しい(7)
- ・ 子どもの人数が少ない(5)
- ・ 行政の対応について(4)

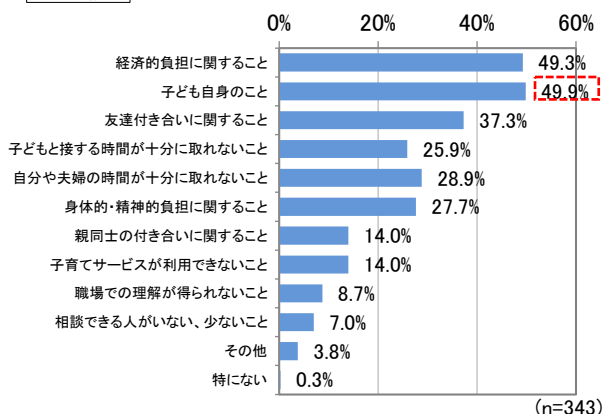
など

■ 第一子の年齢別

0~2歳児

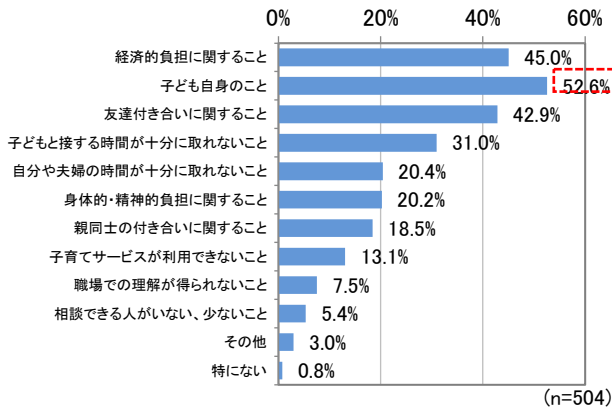


3~5歳児

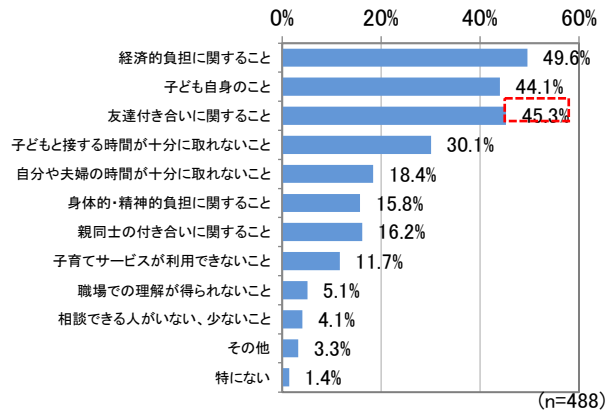




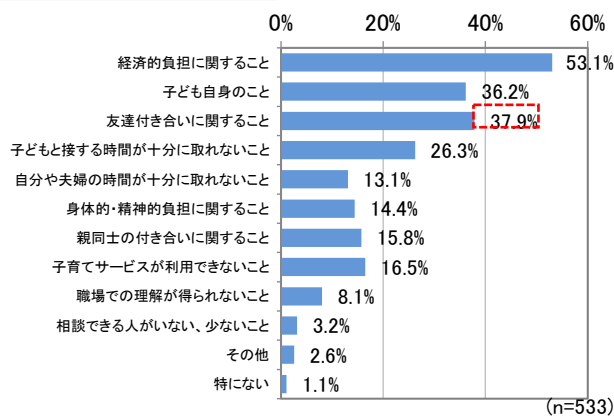
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



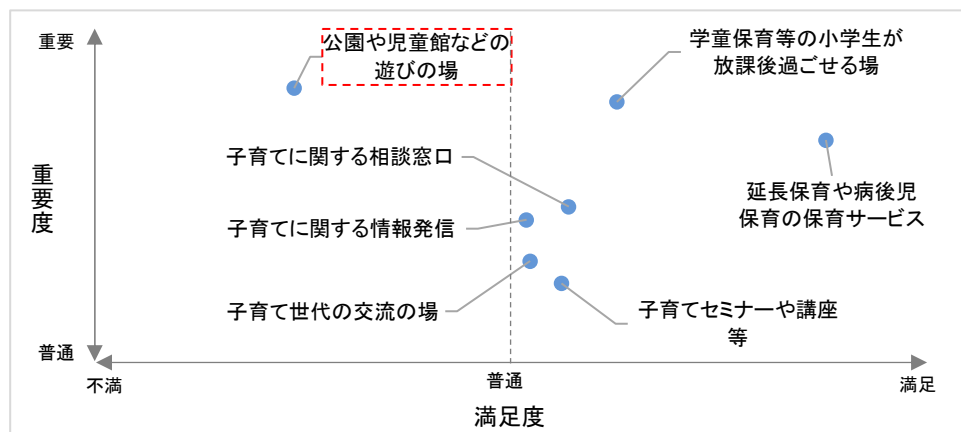
### 3. 佐渡市の子育て支援についておたずねします

問12 子育て支援のための以下の取り組みに対する「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

子育て支援のための取り組みの満足度では、「延長保育や病後児保育の保育サービス」の満足度が約50%で最も高い。一方で、「公園や児童館などの遊びの場」については、約56%の方が不満を感じている。

今後の重要度については、「公園や児童館などの遊びの場」の重要度が約90%で最も高く、次いで「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」の重要度が約84%である。

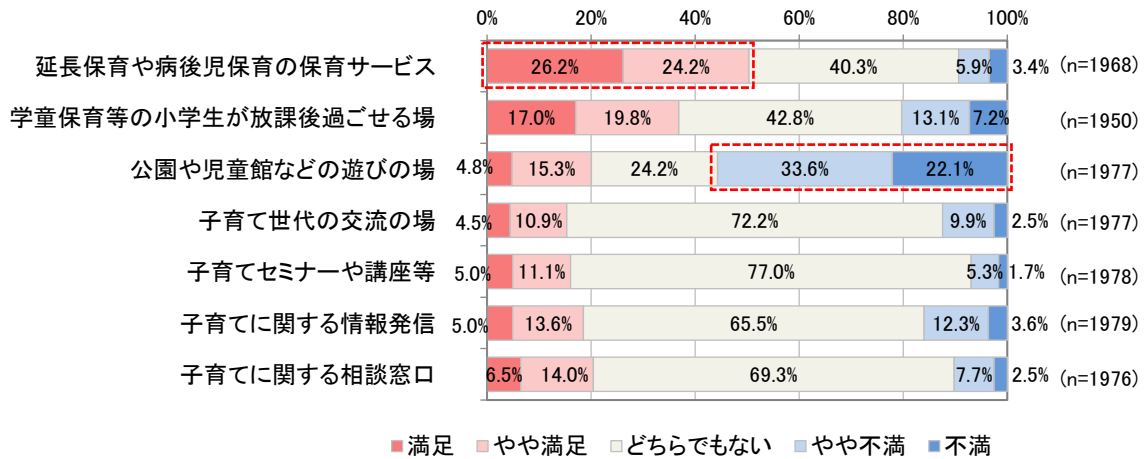
特に「公園や児童館などの遊びの場」は、現状の満足度が低く、今後の重要度が高い。



■現在の満足度

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	515	476	793	117	67	1,968
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	332	387	835	255	141	1,950
公園や児童館などの遊びの場	95	302	479	665	436	1,977
子育て世代の交流の場	88	215	1428	196	50	1,977
子育てセミナーや講座等	98	220	1523	104	33	1,978
子育てに関する情報発信	98	269	1296	244	72	1,979
子育てに関する相談窓口	128	276	1370	153	49	1,976

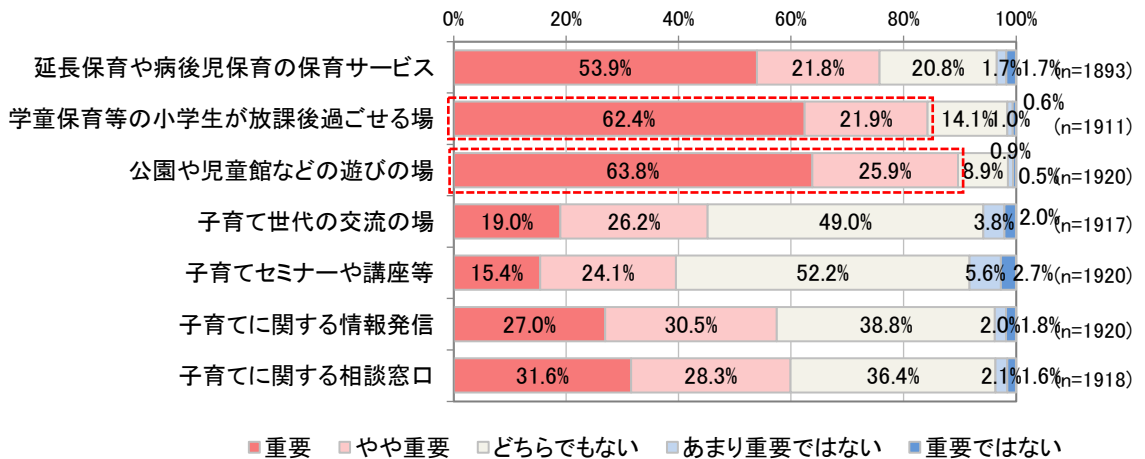
【全体】



■今後の重要度

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	1,021	413	394	33	32	1,893
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	1,193	418	270	19	11	1,911
公園や児童館などの遊びの場	1,225	497	170	18	10	1,920
子育て世代の交流の場	364	502	940	72	39	1,917
子育てセミナーや講座等	296	463	1002	108	51	1,920
子育てに関する情報発信	518	586	744	38	34	1,920
子育てに関する相談窓口	606	543	699	40	30	1,918

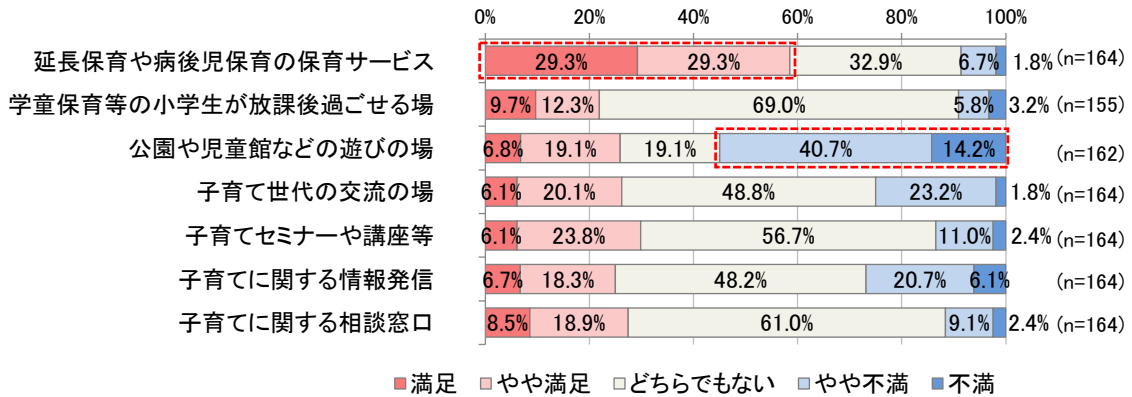
【全体】



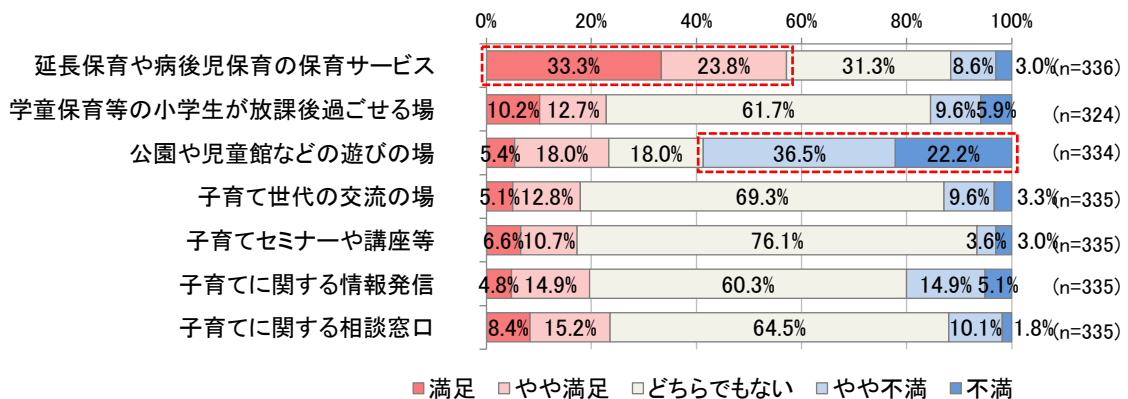
第一子の年齢別でみると、共通して「延長保育や病後児保育の保育サービス」の満足度が高く、第一子が6歳以上である方は「小学生が放課後過ごせる場」の満足度が比較的高い。  
 一方で、第一子が3～5歳である方は、「公園や児童館などの遊びの場」に次いで、「子育てに関する情報発信」に対して、半数以上の方が不満を感じている。  
 今後の重要度が80%を超える取り組みは、共通して「公園や児童館などの遊びの場」と「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」である。また、第一子が0～8歳である方は「延長保育や病後児保育の保育サービス」の重要度も高い。

■現在の満足度  
 【第一子年齢別】

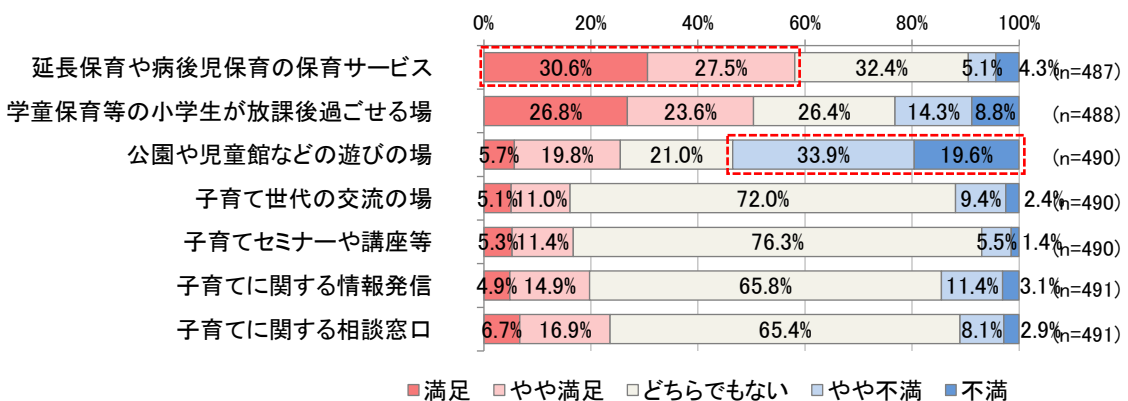
0～2歳児



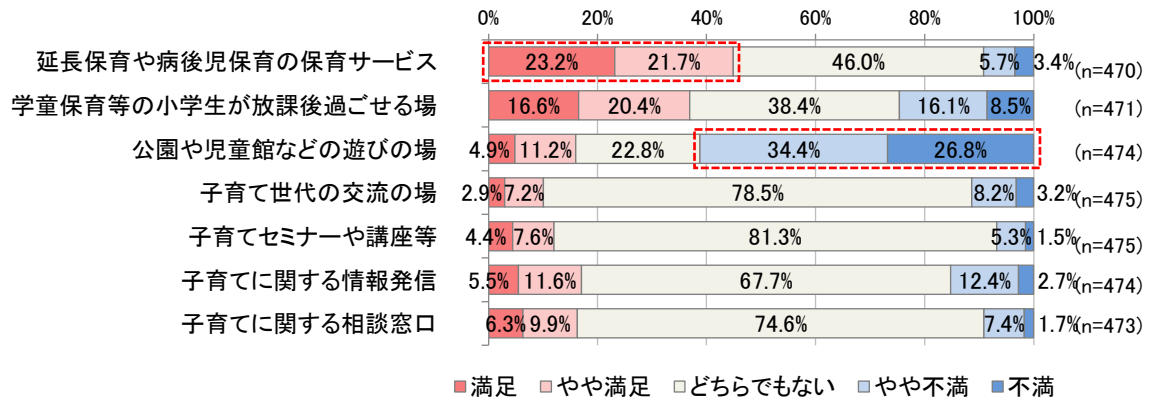
3～5歳児



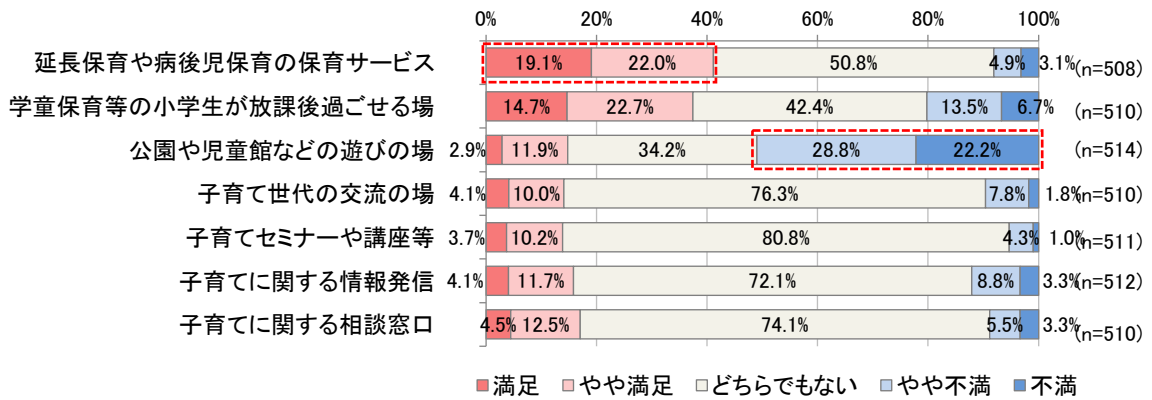
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



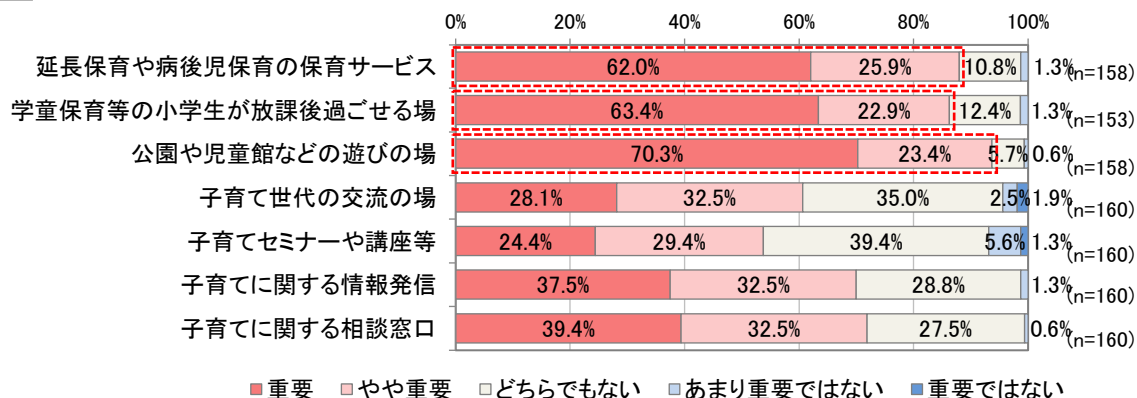
12歳以上(中学生以上)



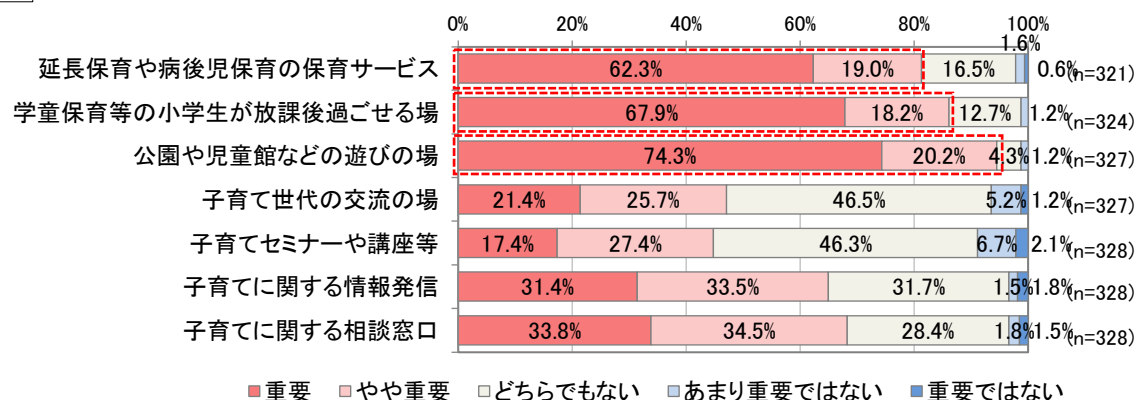
■今後の重要度

【第一子年齢別】

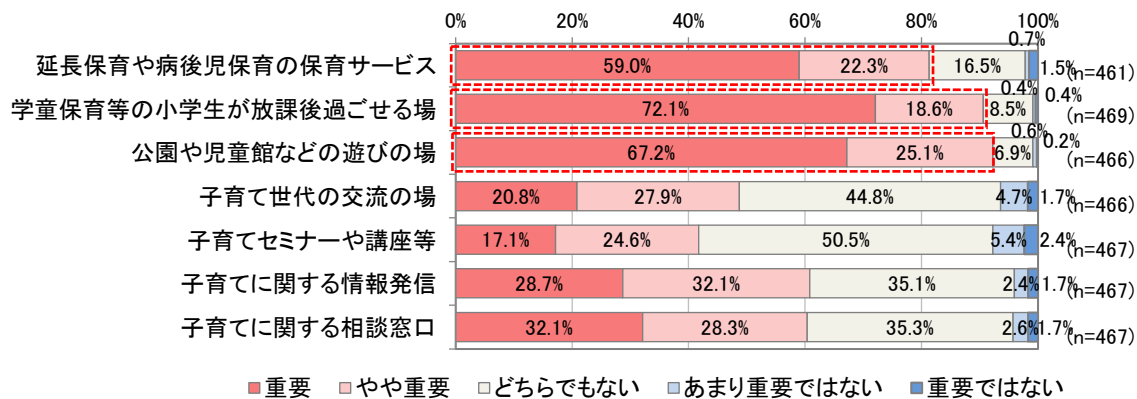
0～2歳児



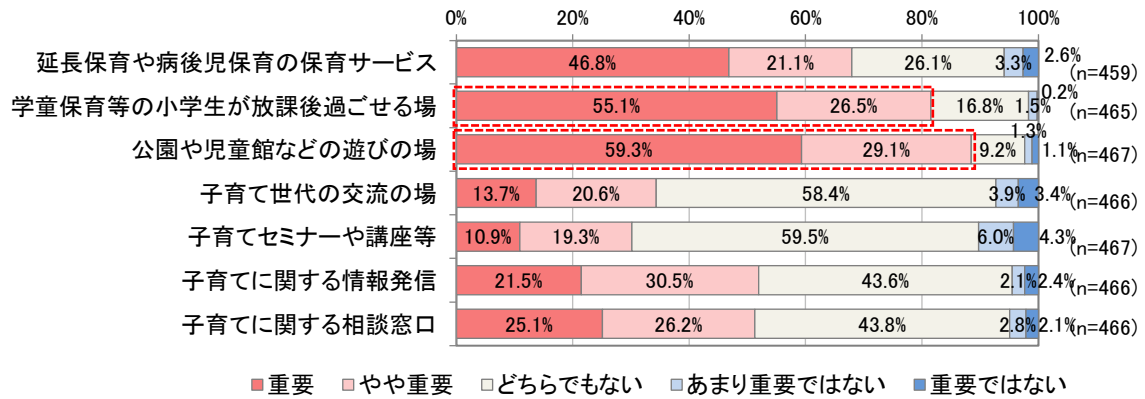
3～5歳児



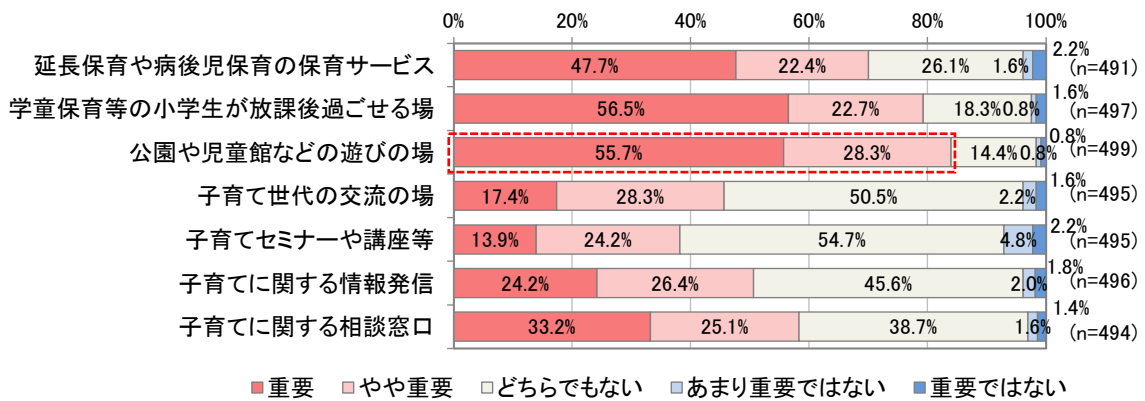
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



問13 市内での教育環境について、最も不安に思っていることや心配していることは何ですか。

市内での教育環境について不安に思っていることや心配していることでは、「学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等が限られる（約29%）」が最も多く、次いで「大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない（約19%）」である。

地域別でみると、両津地区と南佐渡地区で「統廃合により通学に時間がかかる」、相川地区で「多様な意見に触れる機会がない」が、比較的高い。

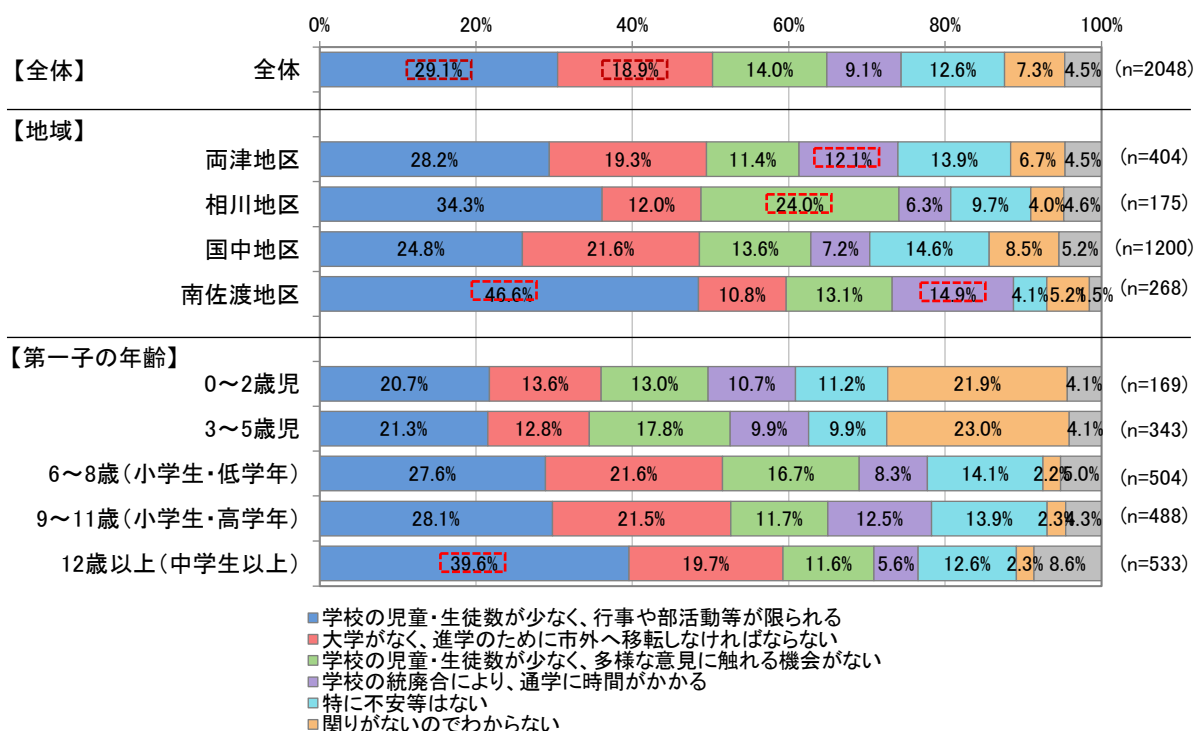
第一子の年齢別でみると、特に第一子が12歳以上の方で「行事や部活動が限られる」が高い。

	(件)
1. 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等が限られる	596
2. 大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない	387
3. 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない	286
4. 学校の統廃合により、通学に時間がかかる	186
5. 特に不安等はない	259
6. 関りがないのでわからない	150
7. その他	92
無回答	92
計	2,048

**その他**

- ・特別支援教育や障害児への支援について(8)
- ・学校の統廃合について(7)
- ・クラスの人数が多く、目が行き届かない(5)
- ・通学路の安全性について(5)
- ・教育や教師の質について(5)
- ・親子や子ども同士、親同士の交流や関わりについて(5)
- ・休日や放課後に過ごせる場所や安全について(5)

など



問14 子育て環境や子育て支援について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

子育て環境や子育て支援について、514名の子育て世代の方から意見が挙げられた。最も意見が多い分野は、子どもの居場所づくりやコミュニティづくりといった「周辺環境」で、約39%の方が意見を挙げている。次いで、経済的支援や情報提供といった「子育て支援」に対して約24%の方が意見を挙げている。

分野	分類	件数
子育て支援 (23.7%)	一次預かり等	6
	病児・病後児保育	11
	障がい児支援	9
	サポート体制	22
	情報提供	23
	相談体制	8
	経済的支援	71
	子育て支援センター	17
施設の整備・充実 (14.2%)	学童保育	50
	保育園	18
	医療施設	5
	子育て支援センター	17
周辺環境 (39.0%)	子どもの居場所づくり	207
	コミュニティづくり	10
	仕事と子育ての両立	12
	意識啓発	9
	イベント開催	9
教育環境 (15.0%)	学習環境の整備	15
	教育の質	19
	統廃合	25
	部活動	13
	通学	12
	進学先	8
	PTA	3
その他 (8.1%)	市の取り組みについて	28
	いじめ	2
	その他	21
	計	633
	回答者数	514

※同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。